

# 水道事業会計



## 水道事業会計〔上下水道事務所 上下水道課 所管〕

### 1. 概要

守谷市の水道事業は、昭和46年に旧守谷地区の一部を給水区域として簡易水道事業が発足した。昭和53年には上水道事業に移行し、順次給水区域を拡大して、昭和63年3月には配水管網の整備を完了した。その後も安定給水のため取水施設や配水施設を整備し、現在に至っている。

令和2年度は、茨城県企業局が行う県南広域水道用水供給事業(利根川浄水場)からの浄水受水により安定した給水に努める。水道施設の運転・維持管理については、「水道事業ビジョン」や「経営戦略」に基づき、「水道施設の点検計画」及び「水安全計画」を策定し、効果的な民間企業による包括管理や計画的な鉛製給水管及び老朽管の布設替工事を実施する。さらに、上水道管路台帳及び設備台帳を活用した効率的な資産管理に努める。

### 2. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	2年度	構成比	元年度	構成比	増減額	増減率
水道事業収益	営業収益	1,360,201	86.8	1,397,648	87.8	△ 37,447	△ 2.7
	営業外収益	206,766	13.2	194,276	12.2	12,490	6.4
	特別利益	5	0.0	3	0.0	2	66.7
収入合計		1,566,972	100.0	1,591,927	100.0	△ 24,955	△ 1.6

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	2年度	構成比	元年度	構成比	増減額	増減率
水道事業費用	営業費用	1,430,486	96.5	1,513,314	97.5	△ 82,828	△ 5.5
	営業外費用	47,463	3.2	35,308	2.3	12,155	34.4
	特別損失	769	0.1	758	0.0	11	1.5
	予備費	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
支出合計		1,481,718	100.0	1,552,380	100.0	△ 70,662	△ 4.6

### 3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	2年度	構成比	元年度	構成比	増減額	増減率
資本的収入	他会計負担金	17,715	99.3	0	0.0	17,715	皆増
	他会計補助金	120	0.7	140	99.3	△ 20	△ 14.3
	工事負担金	1	0.0	1	0.7	0	0.0
収入合計		17,836	100.0	141	100.0	17,695	12,549.6

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	2年度	構成比	元年度	構成比	増減額	増減率
資本的支出	建設改良費	237,517	97.8	307,141	98.3	△ 69,624	△ 22.7
	企業債償還金	5,448	2.2	5,309	1.7	139	2.6
	工事負担金返還金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
支出合計		242,966	100.0	312,451	100.0	△ 69,485	△ 22.2

## 《収益的收入》

### 1 営業収益

○給水収益 1,301,994千円 予算書P. 377

区 分		2年度	元年度	増 減	増減率 (%)
総調定件数		172,710	169,290	3,420	2.0
内訳	定例分	169,710	166,290	3,420	2.1
	随時分	2,700	2,700	0	0.0
	仮設分	300	300	0	0.0
総有収水量 (A)		6,483,800	6,477,800	6,000	0.1
内訳	定例分	6,464,000	6,458,000	6,000	0.1
	随時分	15,000	15,000	0	0.0
	仮設分	4,800	4,800	0	0.0
予算額 (B)		1,301,994	1,319,350	△ 17,356	△ 1.3
内訳	定例分	1,296,468	1,313,799	△ 17,331	△ 1.3
	随時分	4,080	4,087	△ 7	△ 0.2
	仮設分	1,446	1,464	△ 18	△ 1.2
供給単価 (B/A)		200.81	203.67	△ 2.86	△ 1.4

\* 積算根拠

定例分 6,464,000 m<sup>3</sup> × 200.56 円 (供給単価) ≒ 1,296,468 千円

随時分 15,000 m<sup>3</sup> × 272.00 円 (供給単価) = 4,080 千円

仮設分 4,800 m<sup>3</sup> × 301.25 円 (供給単価) = 1,446 千円

※積算結果は、供給単価の一銭未満を切り捨てているため差異が生じます。

○受託事業収益 43,679千円 予算書P. 377

(単位：千円，%)

区 分	2年度	元年度	増減額	増減率
下水道使用料徴収事務受託収入 (事務経費の1/2負担)	43,679	42,923	756	1.8
上下水道料金徴収事務経費	87,357	85,846	1,511	1.8
参考：水道事業会計負担分 (事務経費の1/2負担)	43,679	42,923	756	1.8

\* 積算根拠

口座振替依頼書等印刷代 52,800 円×1/2≒ 27 千円

上下水道料金納付書郵送料 5,074,416 円×1/2≒ 2,537 千円

上下水道料金徴収業務委託料 75,174,000 円×1/2= 37,587 千円

コンビニ収納委託料 1,830,048 円×1/2≒ 915 千円

クレジット収納委託料 3,259,080 円×1/2≒ 1,630 千円

口座振替手数料 1,966,140 円×1/2≒ 983 千円

合 計 43,679 千円

### 2 営業外収益

○分担金収入 44,000千円 予算書P. 377

区 分		2年度	元年度	増 減	増減率 (%)
新規加入者	箇所	200	160	40	25.0
マンション	箇所	0	135	△ 135	皆減
予 算 額		44,000	64,040	△ 20,040	△ 31.3

\* 積算根拠

新規加入者(口径20mm) 200箇所×220,000円= 44,000千円

## 《収益的支出》

### 1 営業費用

○原水及び浄水費 691,688 千円 予算書P. 378

[水道事業収益： 691,688 千円]

#### 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利根川浄水場からの浄水受水により、水道水を安定的に確保する。

#### 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

令和元年10月から浄水施設の運転を取り止めたことに伴い、水源の全量を茨城県企業局の利根川浄水場から、年間契約水量に基づき受水する。

- (1) 受水費 基本料金 349,074 千円 ((契約水量21,000 $m^3$ -500 $m^3$ ) $\times$ 1,290円/ $m^3$  $\times$ 12月 $\times$ 1.10)  
使用料金 339,669 千円 (使用水量18,800 $m^3$ /日 $\times$ 45円/ $m^3$  $\times$ 365日 $\times$ 1.10)
- (2) その他 委託料ほか 2,945 千円

○配水及び給水費 222,487 千円 予算書P. 378

[その他： 10,045 千円 水道事業収益： 212,442 千円]

#### \*その他積算根拠

[負担金：消火栓維持管理負担金 2,272 千円]

[負担金：事業運営経費負担金 7,773 千円]

#### 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

配水・送水施設等を適正に管理して、水道水を安定的に供給する。また、定期的な水質検査を行い、水道水の安全性を確保する。

#### 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

配水池・配水ポンプなどの配水・送水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的、かつ効果的に行う。また、引き続き安全な給水の観点から鉛製給水管を計画的に取り替えるとともに、効率的な維持管理のために電子化した上下水道管路台帳を業務委託により適正に管理し、水道法に基づき配水の定期的な水質検査を業務委託により行う。

- (1) 委託料 配水場包括管理委託料 69,101 千円  
水質検査委託料 4,113 千円  
上下水道管路管理システム委託料 5,522 千円  
水道施設点検計画策定委託料 5,819 千円
- (2) 修繕費 給水管維持修繕費 2,530 千円  
給水管布設替工事費 66,935 千円  
配水管維持修繕費 4,790 千円  
消火栓維持修繕費 1,716 千円  
包括管理修繕費 23,237 千円  
量水器費 16,477 千円  
量水器取替費 14,613 千円
- (3) その他 路面復旧費ほか 7,634 千円



配水池



配水ポンプ

**○受託事業費 43,679 千円 予算書 P. 379**

[その他: 43,679 千円]

**\*その他積算根拠**

[受託事業収益: 下水道使用料徴収事務受託収入 43,679 千円]

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

適正な経理を行うため、下水道使用料徴収事務に係る経費負担を明確に区別する。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

上下水道料金徴収委託料の経費のうち、公共下水道事業会計及び農業集落排水事業特別会計が負担する額を計上する。

(1) 委託料 下水道使用料徴収事務受託委託料 43,679 千円

**○総係費 161,692 千円 予算書 P. 379**

[その他: 2,208 千円 水道事業収益: 159,484 千円]

**\*その他積算根拠**

[負担金: 事業運営経費負担金 1,658 千円]

[補助金: 児童手当給付補助金 550 千円]

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

適正な経理を行うため、料金徴収事務を業務委託で実施する。また、安定した事業の継続と効率的な運営を図るため、資産管理システムの更新や水安全計画の策定等を業務委託により実施する。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

事業経営に必要な委託料、電気料及び人件費等の経費を計上する。

(1) 委託料 上下水道料金徴収委託料 37,587 千円  
 水道設備・資産管理システム更新委託料 5,291 千円  
 水安全計画策定委託料 6,457 千円  
 その他委託料 4,642 千円  
 (2) 動力費 配水場電気料 27,116 千円  
 (3) その他 職員給与費ほか 80,599 千円

**○資産減耗費 42,239 千円 予算書 P. 383**

[水道事業収益 42,239 千円]

**【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】**

適正な資産管理を行うため、水道施設の改築更新に伴い撤去等をする資産を固定資産から除却する。

**【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】**

安定した給水を継続するため、令和元年10月から全量を県南広域水道用水供給事業(利根川浄水場)からの受水に転換したことにより、廃止となった井戸及び浄水施設の撤去工事等を計画的に行う。

(1) 固定資産除却費 水道管撤去工事費 13,439 千円  
 井戸施設撤去工事費 20,900 千円  
 構築物除却費 2,229 千円  
 機械及び装置除却費 5,365 千円  
 工具器具及び備品除却費 6 千円  
 (2) たな卸資産減耗費 たな卸資産減耗費 300 千円

**2 営業外費用**

**○支払利息 957 千円 予算書 P. 383**

[水道事業収益: 957 千円]

(単位: 千円)

区分	元年度末 残高見込額 (利息) (A)	2年度償還額			2年度末 残高見込額 (利息) (A - B)
		元 金	利息 (B)	計	
上水道事業債	3,782	5,448	957	6,405	2,825

### 3 特別損失

○過年度損益修正損 768 千円 予算書P. 384

[水道事業収益： 768 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

水道料金等の債権を適正に管理する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

漏水減免等の事実の発生に基づき、決算された収入額を減額修正し、収納状況に応じて還付する。

・過年度調定修正額	水道料金	327 千円
	分担金	440 千円
・貸倒損失		1 千円

### 《資本的支出》

#### 1 建設改良費

○上水道建設費 235,347 千円 予算書P. 385

[その他： 17,836 千円 過年度分損益勘定留保資金等： 217,511 千円]

\*その他積算根拠

[負担金：消火栓設置負担金 17,715 千円]

[補助金：児童手当給付補助金 120 千円]

[負担金：配水管布設工事負担金 1 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

水道利用者に対して安全・安心な水道水を継続的に供給するため、水道施設の建設又は改良を行う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

都市計画道路坂町清水線の改良工事に合わせて、配水管の布設工事を実施するとともに、配水管の耐震性を強化するため、老朽管の布設替工事を実施する。

(1) 委託料	配水管工事設計委託料	15,131 千円
	自家発電設備更新設計委託料	10,351 千円
(2) 工事請負費	消火栓設置工事費	990 千円
	消火栓更新工事費	16,302 千円
	配水管布設工事費	60,786 千円
	配水管布設替工事費	70,169 千円
	包括管理更新工事費	46,728 千円
(3) その他	配水場外構工事費	3,465 千円
	職員給与費ほか	11,425 千円



配水管布設替工事

## 2 企業債償還金

○企業債償還金（元金） 5,448 千円 予算書P. 386

[積立金： 5,448 千円]

(単位：千円)

区 分	元年度末 残高見込額 (元金) (A)	2年度償還額			2年度中 借入予定額 (C)	2年度末残高 見込額 (元金) (A - B + C)
		元金 (B)	利 息	計		
上水道事業債	39,744	5,448	957	6,405	0	34,296

企業債の借入利率別現在高の状況 (2年度末見込・元金)

区 分	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	3.5%超	計
残高 (千円)	7,012	12,331	7,333	7,620	0	34,296
件数 (件)	4	7	5	3	0	19